

鳥インフルエンザ防疫作業従事者の皆様へ

1. 作業従事前の健康チェックについて

作業に従事する前に、健康チェックを行います。健康チェックの結果、作業場所が変更になったり、作業に従事できないこともあります。その際は、現場責任者の指示に従ってください。

【健康調査の流れ】

①問診票の記入と体温測定→②血圧測定→③医師の診察(必要な人のみ)

* 体調が優れない方は、血圧測定の際に、保健師にご相談ください。

2. 防護服の正しい着脱について

防護服は、ウイルスや消毒薬等から自分の身を守ることはもちろんですが、鳥インフルエンザウイルスを農場の外に持ち出さないように正しく着脱する必要があります。

特に、作業終了後に防護服を脱ぐときには、外側の汚れた部分に直接触れないように、注意を払って脱いでください。

作業現場から場外に移動する場合は、防護服等を脱ぐことと、靴底の消毒、手洗い、うがいが必要になります。

ウイルスを持ち出さないためにも、消毒等の防護策を徹底してください。

着脱や作業後の消毒等に不安がある場合は、保健所職員に遠慮なく質問してください。

3. 作業終了後の健康調査について

作業終了後は、必ず、健康調査を受けてください。

【健康調査の流れ】

①問診票の記入と体温測定→②血圧測定→③医師の診察(必要な人のみ)

④タミフルの処方(必要な人のみ)→⑤モニタリング票の受け取り(必要な人のみ)

* 体調の優れない方は、血圧測定の際、保健師にご相談ください。

4. 消毒薬による皮膚炎・結膜炎等および作業中の外傷・事故等について

消石灰やビルコンS等の消毒薬は、目に入ると結膜炎を起こしたり、皮膚への付着で皮膚炎を起こすこともありますので、防護服・手袋・ゴーグル・マスク等の着用は、正確に行ってください。

また、作業中の転倒や外傷等の事故の予防にも留意してください。

もし、そのような症状が現れた場合、防護服が破れた場合、事故・外傷等の際には、ただちに現場リーダーの職員に申し出ててください。

5. 心の健康について

災害対応をすることにより、心身ともに疲れやすくなります。

精神的な動揺や心身の症状は、ひどいショックを受けたときに誰にでも起こりうる反応です。

反応の仕方や回復の仕方は人それぞれに違いますが、不眠や食欲不振等の症状が現れた場合は、職場の健康管理責任者に申し出ててください。